



2020年6月期 決算補足説明資料

2020年8月14日
株式会社バリューデザイン

1. 2020年6月期 決算報告
2. 事業の進捗状況
3. 2021年6月期の業績見通し

計画通り黒字復帰、更に「キャッシュレス・消費者還元事業」効果で利益は目標を超過

連結売上高 : **2,477**百万円 前期比 +19.9% 達成率 107.9%

連結営業利益 : **137**百万円 前期比 +202百万円 達成率 260.1%

■ 2020年6月期 通期トピックス

① ハウスプリペイドは初期、システム利用料とも好調で年間取扱高5,000億円到達

- ・「キャッシュレス・消費者還元事業」参加の量販店の取扱高が増加、システム利用料は約1割増
- ・チャージ機販売、及びキャッシュレス還元補助受給用の決済データ提供料で初期売上は約3割増
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、一部業態の顧客における取扱高が減少

② 前期投資を下敷きに、成長再加速に向けた基盤づくりを推進

- ・QR等コード決済接続サービスは計画を上回る11社と接続を完了し導入店を拡大中
- ・非プリペイド会員の取り込みによるプリペイドユーザーと取扱高の増加に向けた新サービスの開発、及び関連事業者との連携強化を推進

1. 2020年6月期 決算報告

2. 事業の進捗状況

3. 2020年6月期の業績見通し

連結P/L（2020年6月期）

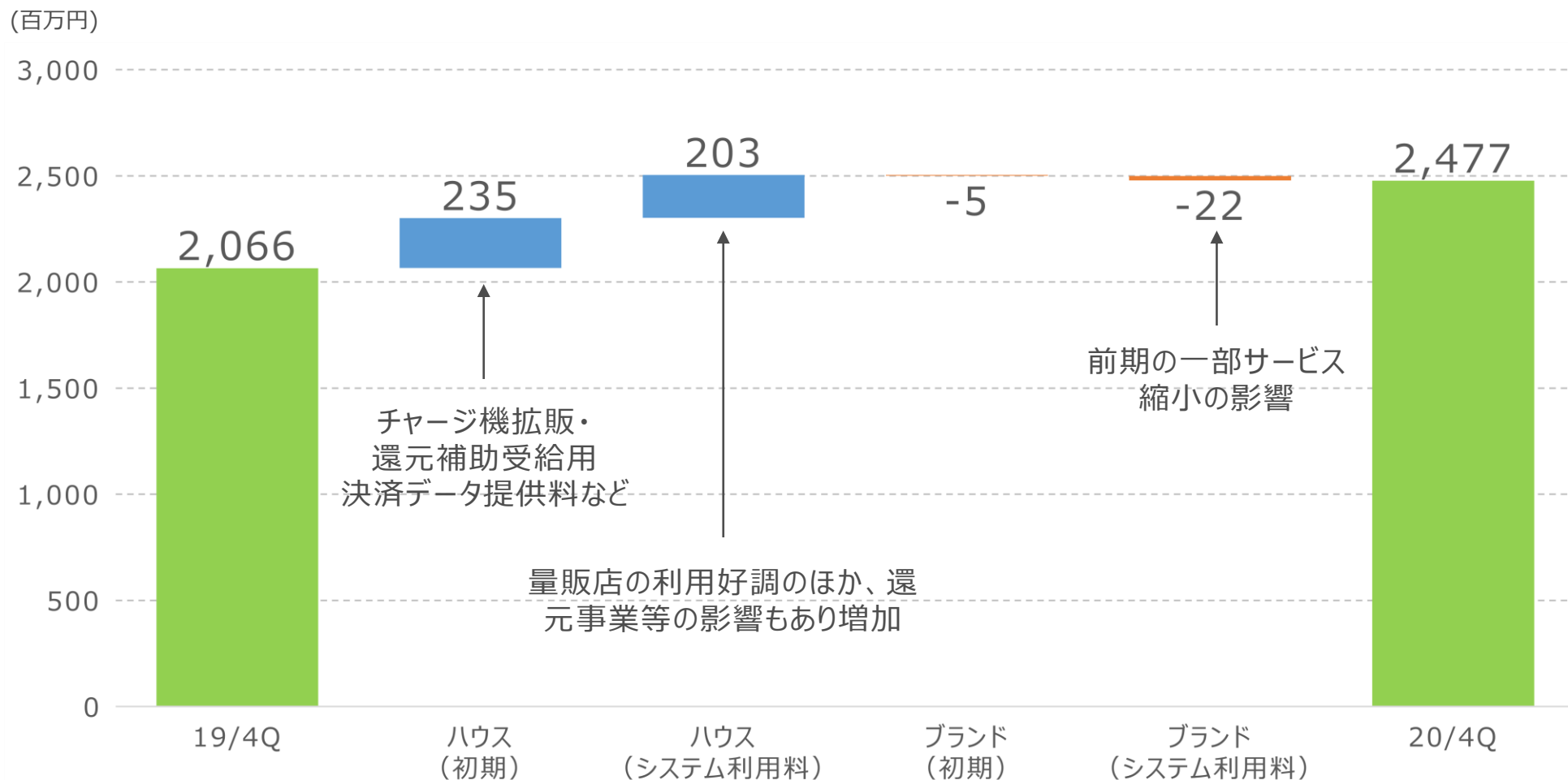
通期は初期売上30%超、システム利用料売上10%超の成長で着地
原価・販管費等も概ね計画通りの水準で推移し、売上増分による利益で計画超過

(百万円)

	① 2020年6月期 (実績)	② 2019年6月期 (実績)	前年同期比 (①÷②)	③ 2020年6月期 (予想)	達成率 (①÷③)
売上高	2,477	2,066	119.9%	2,295	107.9%
(初期売上)	1,008	764	132.0%	828	121.7%
(システム利用料売上)	1,469	1,303	112.8%	1,467	100.2%
営業利益または営業損失	137	▲65	+202百万円	53	259.6%
経常利益または経常損失	122	▲80	+202百万円	43	285.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益または当期純損失	76	▲150	+226百万円	1	7677.5%

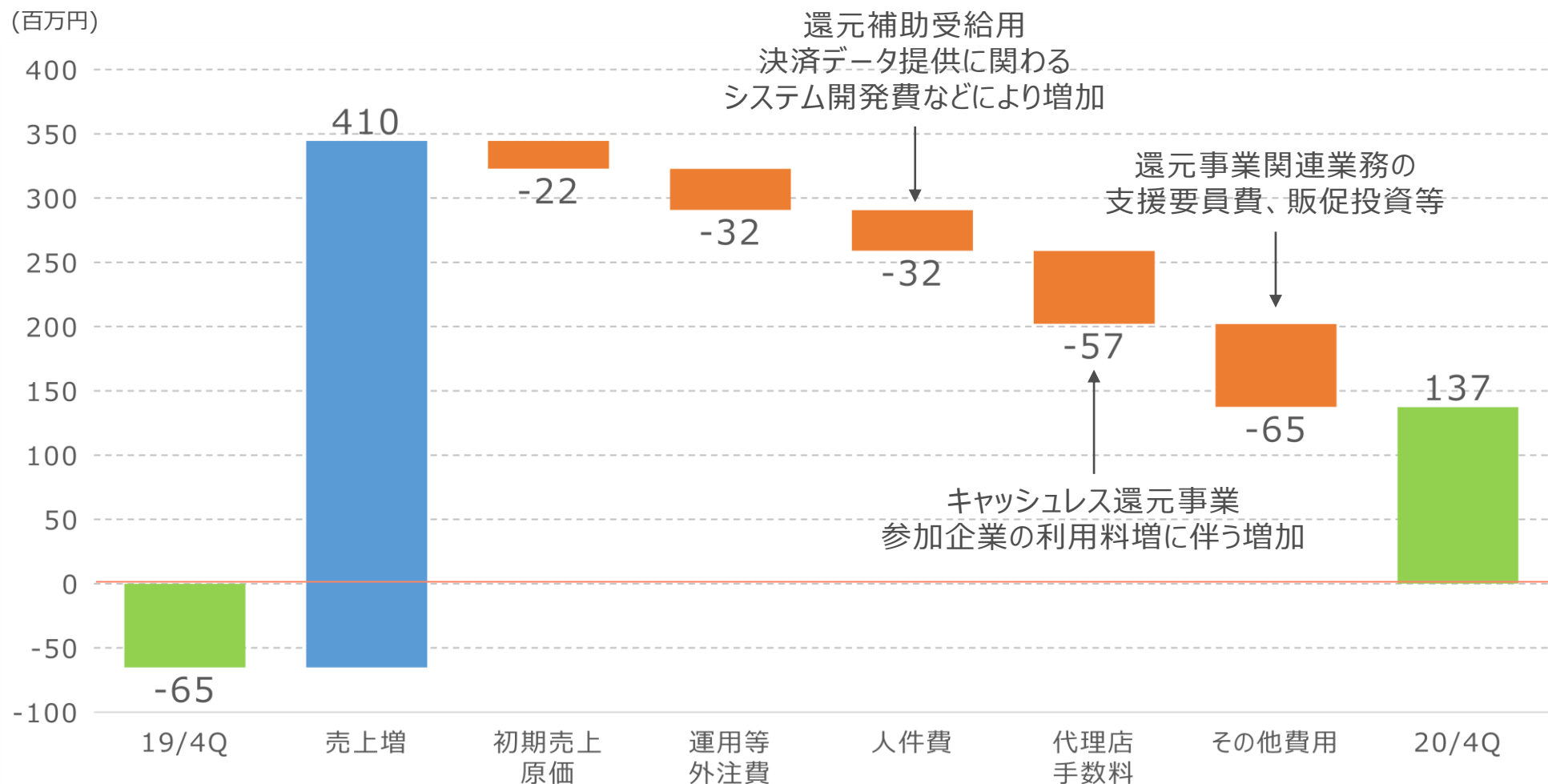
売上高の変動要因（前期比）

各売上項目とも、3Q傾向とほぼ変動なし



営業利益の変動要因（前期比）

4Qに販促関連で投資を実施、その他費用の傾向は3Qとほぼ変動なし。不確定要因であったキャッシュレス還元事業の最終精算に関わる費用増も当期中には発生せず



1. 2020年6月期 決算報告

2. 事業の進捗状況

3. 2021年6月期の業績見通し

事業別業績：ハウスプリペイド

新型コロナウイルスの影響により、4Qに一部企業の取扱高減少があったものの、キャッシュレス・消費者還元の効果等もあり、システム利用料は前期比約17%増と堅調

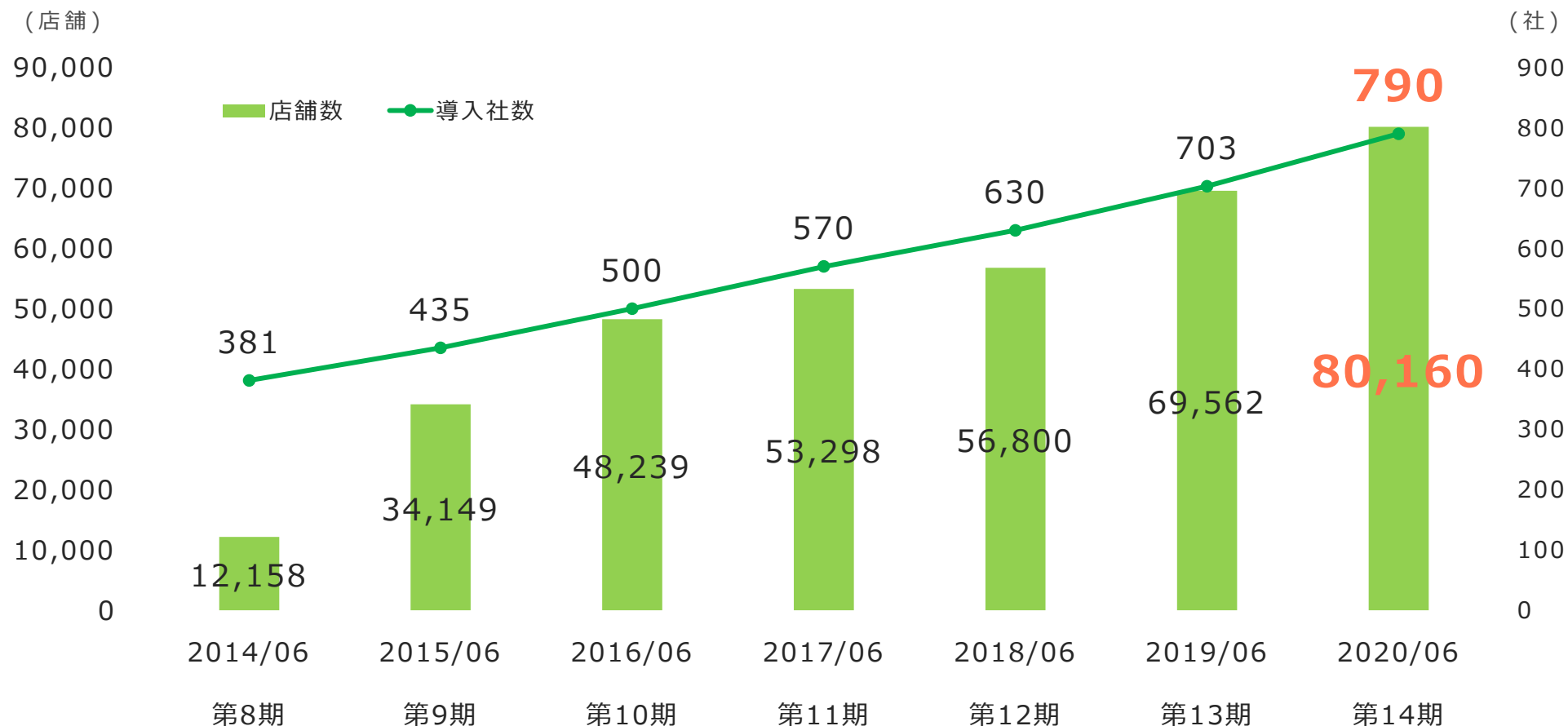
(百万円)

	① 2020年6月期 (実績)	② 2019年6月期 (実績)	前年同期比 (①÷②)
売上高	2,323	1,886	123.2%
(初期売上)	993	743	133.5%
(システム利用料売上)	1,331	1,142	116.5%
セグメント利益	557	347	160.0%

ハウスプリペイド事業の状況（店舗数・導入社数）

導入店舗数は8万店舗を超過、導入社数も800社に迫る水準に到達

<導入店舗数・導入社数（累計）の推移>

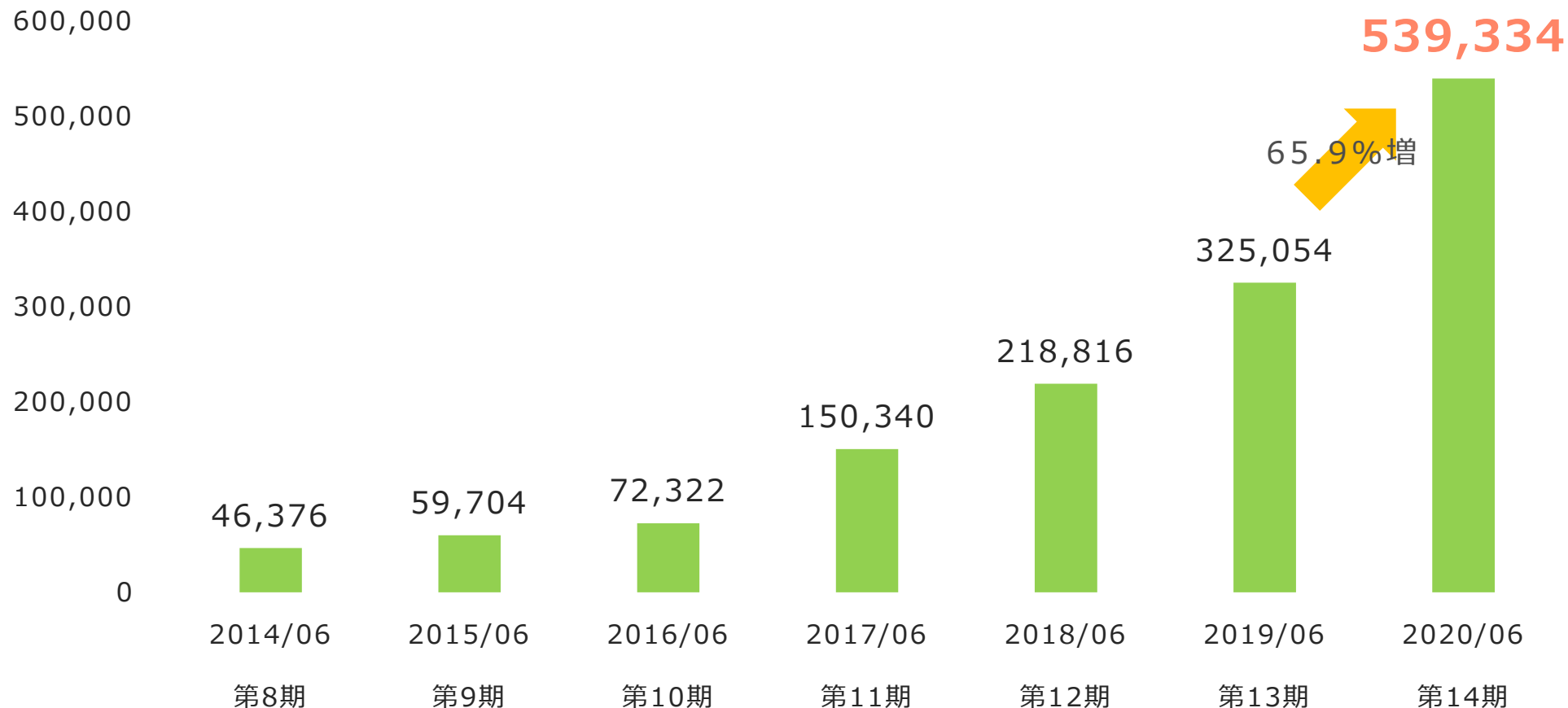


ハウスプリペイド事業の状況（取扱高）

キャッシュレス還元事業参加企業の利用増加、それ以外の大型量販店での利用増の結果
前期（48.6%増）を超える、65.9%増の成長を遂げ、通期取扱高は5,000億円を突破

<年間取扱高(=プリペイドチャージ額)の推移 ※海外含む>

(百万円)



事業別業績：ブランドプリペイド

一部顧客のサービス縮小に伴い、売上・利益とも減少

稼働中サービスを維持しつつ、次の成長フェーズに向けた事業戦略を策定、実行

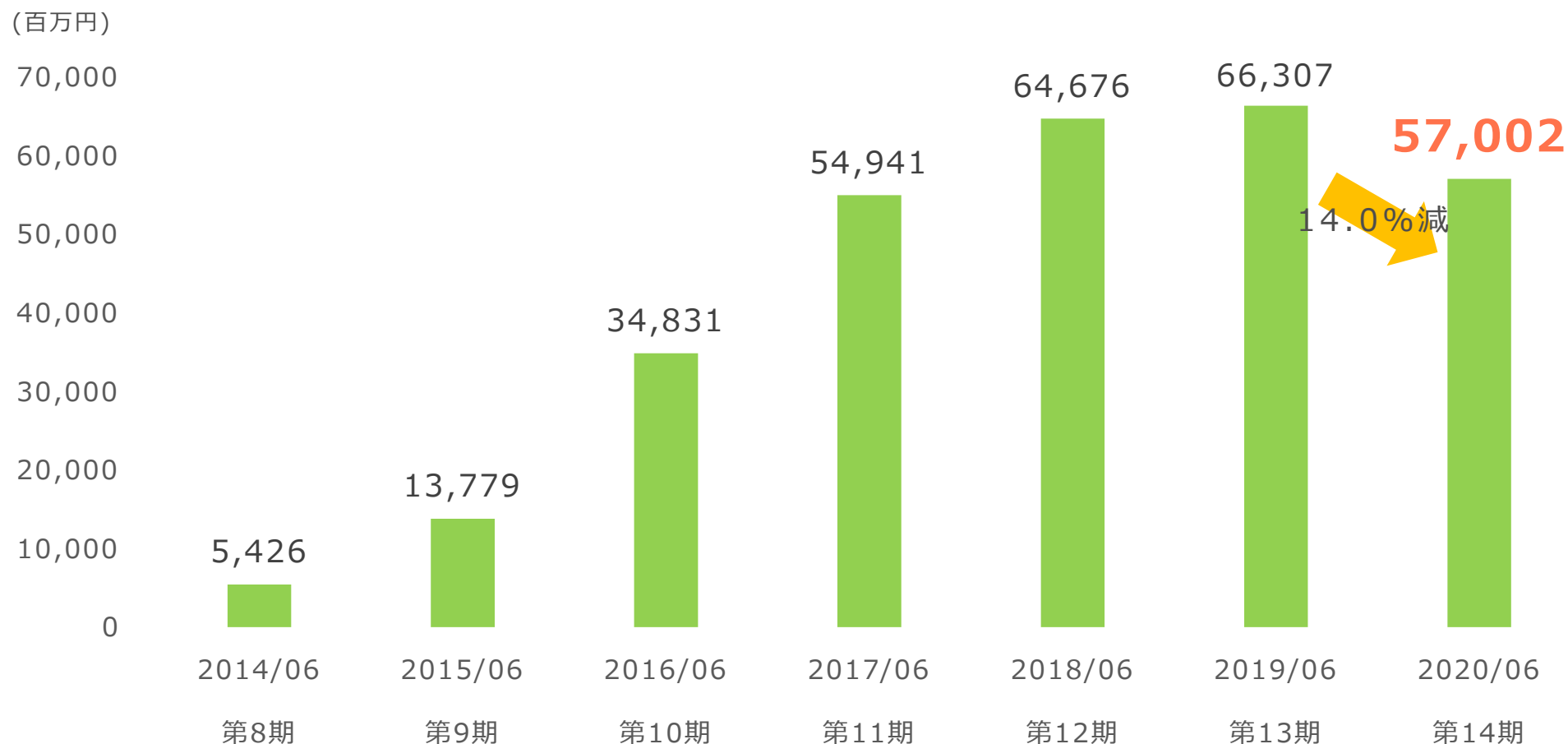
(百万円)

	① 2020年6月期 (実績)	② 2019年6月期 (実績)	前年同期比 (①÷②)
売上高	154	180	85.2%
(初期売上)	16	20	76.5%
(システム利用料売上)	138	160	86.3%
セグメント損失	▲46	▲31	-15百万円

ブランドプリペイド事業の状況（取扱高）

既存案件のサービス縮小に伴い、14.0%減少

<年間取扱高(=プリペイドチャージ額)の推移>



事業別業績：海外

大型案件、新サービス等を背景にタイ・インドのシステム利用料売上が成長するも、新型コロナウイルスの影響で4Qの売上が想定より伸びずトータルでは減収

(百万円)

	① 2020年6月期 (実績)	② 2019年6月期 (実績)	前年同期比 (①÷②)
売上高	47	49	95.5%
(初期売上)	10	19	54.0%
(システム利用料売上)	37	30	122.1%
営業損失	▲65	▲75	+10百万円

(注)海外は当社セグメント定義上ハウスプリペイドに属するため、当業績は前出のハウスプリペイドの業績に含みます。

事業別業績：海外

<海外単独の年間取扱高(=プリペイドチャージ額)の推移>



(注)海外は当社セグメント定義上ハウスプリペイドに属するため、当実績は前出のハウスプリペイドの実績に含みます。

1. 2020年6月期 決算報告
2. 事業の進捗状況
3. 2021年6月期の業績見通し

2021年6月期 連結業績予想

新規案件の引き合い、チャージ機等追加商材の需要などの市場環境は良好である一方、新型コロナウイルス・キャッシュレス還元終了等、予測困難な要素が多く確実性の高い要素のみで見積り

(百万円)

	2021年 6月期予想	2020年 6月期実績	前期比
売上高	2,622	2,477	105.9%
（初期売上）	1,152	1,008	114.3%
（システム利用料売上）	1,470	1,469	100.1%
営業利益	103	137	74.9%
経常利益	90	122	73.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	48	76	63.7%

当面の見通し（～2021/6期）

目標であった14期の黒字回復は達成、15期業績は足元の状況を踏まえて慎重に見積もり

業績目標（2019.8発表）

最新状況・見通し

2019/6期
(第13期)

売上 21億円
営業利益 ▲2億円

- ✓ 売上20.6億円／営業▲0.6億円
- ✓ 主要な投資完了、費用圧縮(一部翌期繰り越し)により営業損失減

2020/6期
(第14期)

売上 23-24億円規模
営業利益 黒字転換
12期程度の水準を目安

- ✓ 売上24.8億円／営業1.4億円
- ✓ 計画通り黒字化+キャッシュレス還元等による上積みで計画超過

2021/6期
(第15期)

売上 30億円規模
営業利益 過去最高益
以上の水準を目標

- ✓ 売上26.2億円／営業1.0億円
- ✓ コロナ禍の継続を想定し、システム利用料成長の据置など、慎重な見積りに変更
- ✓ 16期以降の中期成長目標に向けた施策を順次実行

2021年6月期の業績予想に対する、重要な外部要因の影響について

想定される事象(+ : ポジティブ、- : ネガティブ)

業績への反映

新型コロナウイルス 関連	+	<ul style="list-style-type: none"> ✓ キャッシュレス決済普及の加速(衛生面からの嫌忌) ✓ 成長サービス(事前オーダー等)との連携機会獲得 	<p>コロナ禍による経済減速とその影響は避け得ないため、業績のプラス要素としては見込まず</p>
	-	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 更なる感染拡大に伴う経済全体の停滞による、プリペイド利用減 	<p>感染第二波の到来もあり、経済減速の懸念は払拭できないため、取扱高とシステム利用料収入の成長を保守的に見積り、ほぼ据え置き</p>
キャッシュレス決済 推進政策 関連	+	<ul style="list-style-type: none"> ✓ マイナポイント等の国策における、ハウスプリペイド利用の利用機会の増加 	<p>効果が不透明なため、大幅な収益増は計算せず</p>
	+	<ul style="list-style-type: none"> ✓ キャッシュレス化の推進による新規案件、及びチャージ機等の関連商材に対する需要の増加 	<p>ある程度確定的な需要が見えており、初期売上の増加に反映</p>
	-	<ul style="list-style-type: none"> ✓ キャッシュレス・消費者還元事業終了による収益減(事業参加企業の取扱高の減少、及び決済データ提供料収益獲得の終了) 	<p>コロナ禍も踏まえ、同事業参加企業のシステム利用料収益は事業開始前の水準程度で見積もり</p>

中長期の成長イメージ-今後の成長目標

新規事業

国内・海外で増加させた店舗ネットワーク(顧客基盤)を活用し、将来的に新たな決済・販促サービスを展開

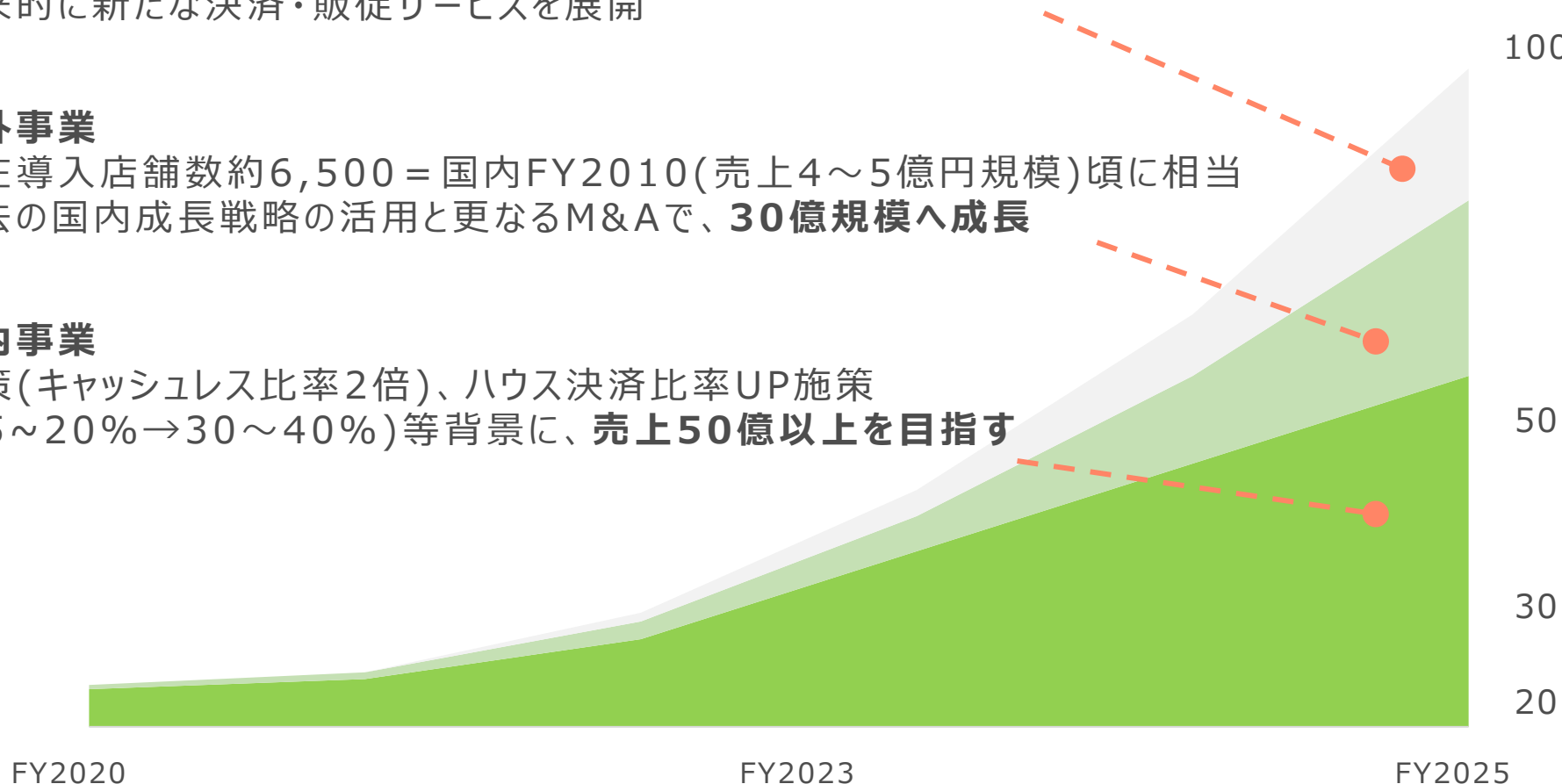
海外事業

現在導入店舗数約6,500 = 国内FY2010(売上4~5億円規模)頃に相当
過去の国内成長戦略の活用と更なるM&Aで、**30億規模へ成長**

国内事業

国策(キャッシュレス比率2倍)、ハウス決済比率UP施策(15~20%→30~40%)等背景に、**売上50億以上を目指す**

売上目標
(億円)



本資料の作成にあたり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は様々なリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示又は黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が、その他の目的で公開又は利用することはできません。